

予算決算常任委員会報告

令和4年6月16日

ただ今から、予算決算常任委員会の委員長報告を行います。

令和4年6月6日の午前10時から美浜町議会全員協議会室において委員13名及び議長の出席のもと本委員会を開催し、5月31日に本委員会に付託されました議案7件の審査を行いました。

当日は説明のため、町長、副町長、教育長、各課長、局長、所長及び会計管理者の出席を求めました。

また、職務執行のため議会事務局長を出席させました。

以下、本委員会で審査された主な点について申し上げます。

議案第39号 専決処分の承認を求めることについて

(令和4年度美浜町一般会計補正予算(第1号))

総務課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑： がんばる農業者応援事業1, 479万円、及びがんばる漁業者応援事業301万円であるが、利用者に対して広く浸透、活用させるための広報の手段はどうなっているのか。

回答： 実施に当たっては町が行うが、農業関係については耕作者を反別に分けて金額を算定し、漁業者については組合で購入した燃料を対象に、組合に補助金を支給する考えで進める。

意見： 行政は申請を待つ側であり、広報が不十分で申請が少なければ予算が活用できないので、申請しやすい広報に努力して欲しい。

質疑： 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業2, 333万円だが、対象世帯を215世帯と見込んでいるが、年間どれぐらい増えているのか。

回答： 令和3年度と4年度を個人で比較すると新たに非課税となった方は約130人、転入者は約70世帯、合わせて200人とした。家計急変者については、令和2年度の介護保険料のコロナ減免が15人であったため、合計215人として予算を計上している。この給付金は個人ではなく世帯に支給されるものであり、人数はこれより減ると思うが、現時点で、税務システムでは非課税世帯の抽出ができないことと、国は速やかに支給するように、ということ踏まえると、予算上、不足するわけにはいかないので、マックスの数字で計上した。

質疑： がんばる美浜人応援商品券発行事業9, 783万円だが、美浜町独自の施策だと思うが他の近隣自治体の状況はどうか。

回答： 若狭町のわかさ割、敦賀市のつるが割など同様のものが出ているが、これらはスマホを扱って割引を取りに行ける条件が整わないとできない。美浜町ではコロナで困っている部分への支援が、美浜町内全てにしっかり行き渡るようにという趣旨で商品券発行事業にしている。

質疑： この事業にシステム構築業務委託料150万円が含まれるが、どのような業務委託なのか。

回答：システム改修ということで、対象者の抽出、確認書や申請書の修正、資格変更者の抽出、セットアップ作業、マニュアル作成と操作説明等を委託する内容である。

質疑：それらはシステム構築ではなくてデータ整理だと思う。200世帯の抽出に150万円も掛けてシステムを改修するのは無駄だと思う。

回答：美浜町だけがこのシステム改修を委託しているわけではなく、他の市町の状況も見て査定しており、高度な技術が必要であることと、間違いは許されないので専門業者に委託するのが適切だと考えている。

質疑：この類のシステム改修を実施する度に、高額な委託料を払っているわけだが、そんなに難しいシステムでもないように思うがどう考えているのか。

回答：国の制度が変わるたびにこのような経費が掛かっており問題視しているが、まずは各自治体間のシステムの統一化が大事だと思う。しっかり統一が図れるよういろいろな団体、県、国とも協議していきたい。

意見：地方活性化のキーワードは“デジタル”だと思うが、全国的にデジタル人材が大幅に不足している。システムの共通化は必要だが時間がかかる。まずは簡単なシステムは自前で作れる・自前で改修できるという人材と体制を確保・育成しておくことが、これからの町の活性化の絶対条件になると思うので検討頂きたい。

質疑：がんばる農業者応援事業1,479万円では、細目書が基礎になると思うが水稲だけではなくそれ以外も合わせた面積での支払いになるのか。

回答：水稲だけでなく、その他耕作されている農地すべての面積で算定する。

質疑：肥料代が7割～9割値上げということで、かつ米価も下がってくることになれば農家の大打撃になるが、今後のその辺の読みはどうか。

回答：今回は肥料の急騰分を織り込んで支援の中に算定しているが、今後も肥料・飼料の高止まりが続くと考えられ、国の抜本的な対応の状況を見ながら皆さんとともに議論させていただきたい。

質疑：肥料や飼料の高騰が今後も続くようであれば、財政調整基金の取り崩しが進むことになり、別の財源をしっかりと確保する必要があるのではないか。

回答：必要であればまちづくり基金もあるので、それらを有効に活用したい。

質疑：がんばる漁業者応援事業301万円は、燃料油補助ということだが、これにはガソリン、軽油、潤滑オイルを全部含めるという考えなのか。

回答：水産関係で大量に使われるのはディーゼル燃料の軽油ということで、今回は軽油のみを対象にしている。

議案第42号 令和4年度美浜町一般会計補正予算（第2号）

総務課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

<議会費から総務費>

質疑：エネルギー環境教育体験館運営事業の、展示充実検討業務委託料297万

円であるが、どういったことを検討し、どういう業者に委託するのか。

回答：2050年カーボンニュートラルということで脱炭素に関わる取り組みが進んでおり、正しく理解していただくため展示のコンセプトと展示の方法について、業務委託の中で検討していきたい。業者については今回の予算を承認いただいてから検討していきたい。

質疑：今後も、カーボンニュートラルの動向に応じた展示物が必要になり、経費が掛かると思う。委託しなくても、普段からエネルギー環境や課題に向き合っている職員の発想でやれるのではないか。

回答：職員もしっかり考えてはいるが知識の面で限界があり、検討委託業務の中でしっかり考えていきたいと考えている。

質疑：応援人口創出事業215万円であるが、パートタイム会計年度任用職員の費用になっているがどういったことをやるのか。

回答：町内の情報発信業務を担っていただく地域おこし協力隊員1名を採用し、まちの食・人・行事等の記事を作成して、SNS、インスタグラム、また今後整備する予定のアプリ等に発信していきたい。

質疑：美浜暮らしトライアル事業73万円は、実施期間が数年で募集枠が30名、参加費も無料だが、どういった時期にこの事業をやるのか。

回答：この事業は、例えばお父さんの休みが取れた時とか、子供さんの夏休みを使ってとか、ご家庭によって異なるニーズに対して、1家族だけでも受け入れられるような通年型として対応していきたい。募集については町のホームページはもとより、各種移住・定住サイト、福井のUターンセンター等を通じて行いたい。

質疑：移住・定住促進事業46万円であるが、例えば新婚生活応援事業として最大40万円の助成があり、それには前年の夫婦合計所得が400万円未満という制限がある。美浜に住んでほしいから補助制度があるのに、これほど厳しい制限をかけるのはおかしいのではないか。

回答：この制度は、国の地域少子化対策重点推進交付金を受けて創設されたもので、少子化対策を推進すると同時に経済的な支援も目的としており、国から30万円の補助を受けるには所得制限が設けられており、町独自の対策として10万円上乗せして補助上限額を40万円としている。

何らかの事情で、申請件数が少ないようであれば制度の在り方を検証していなければならぬと考えているが、今年度の執行状況を見定めたいので、検討させていただきたい。

意見：昨年もブライダル関係や婚活の関係で予算を組んだが、応募が皆無だったと思う。その背景には、制度的に何か使い勝手が悪い部分があると思うので、精査して次年度にはバージョンアップするような形にして頂きたい。

質疑：二酸化炭素排出抑制対策事業の委託料223万円であるが、町の地球温暖化対策の実行計画は既にあり、それが改定時期に来ているのか、それとも別の理由で改定する必要が生じてきたのか。

回答：令和2年に国が2050年カーボンニュートラル宣言をして、それを基本理念とする地球温暖化対策推進法が昨年改定され、町の方も改定時期になっている。また令和元年度から2年度にかけて庁舎の総合改修工事を行い、空調等を改修しCO²の削減を図っているところであり、その結果を踏まえて今年度の役場としての事務事業として削減対策を行う。

<民生費から商工費>

質疑：園芸育成支援事業1，000万円であるが、この技術型ハウスはどこにできるのか。

回答：予定しているのは和田集落の近くで、既に6棟あるハウス周辺に4棟の増設を計画している。

質疑：電池推進遊覧船活用地域啓発業務委託料792万円は、どこに委託してどういった啓発事業をするのか。

回答：委託先は、指定管理が決まった後の運営会社を予定しており、内容は地域住民のための施設見学会及び試乗会で、若狭町も同時に予算計上しており両町の住民を対象に開催する。もう一つは観光事業者等を対象にしたモニターツアーを予定している。三方五湖周辺の観光資源を上手く組み合わせで魅力ある周遊ツアーの立ち上げにつなげたい。

質疑：観光マネジメント業務委託料440万円であるが、これはどういうものか。

回答：昨年度観光振興計画を改定したが、絵に描いた餅になってはいけないという意見も多くあり、その中の具体的なアクションプラン67項目について、専門家を交えて着実な実行を図るものである。

<土木費から教育費>

質疑：美浜町高島市間道路整備効果調査・検討業務委託料1，507万円であるが、調査を委託し、入り込み客数や交通量等の検討結果がしっかり出るのか。

回答：令和2年の一部業務調査で概略の予算等も算出したが、交通量推計や観光・物流・産業等にどうリンクさせるかの方向性を示すことができずにいた。今回は広域交通ネットワークが整備された後に、時間的な短縮、交流人口の拡大に伴う観光を含めた経済効果等の整備効果について、ビッグデータ等を用いた詳細な調査を考えている。

質疑：町営住宅改修事業5，440万円であるが、主に外構や長寿命化の補修費と思うが、高齢化が進む中で上層階から1階に替わりたい人が増えている。町として今後も3階建ての住宅を続けていくのか、高齢者が利用しやすい低層階の住宅に切り替えていくのか、長期計画の見直しが必要だと思うがどう考えるか。

回答：いただいた意見を参考に、今後新たな長期展望を検討していく。

質疑：西郷健康広場のグラウンドゴルフ場の芝が長く育ちプレーしづらいが、管

理はどこがやるのか。

回答：西郷健康広場の屋内と屋外の業務委託に関しては、美浜町のシルバー人材センターに委託している。またグラウンドゴルフ場に関しては、シルバー人材センターに所属するグラウンドゴルフ協会の会員に、芝刈りも含め会場の施設管理の一切を委託している。

質疑：町内のいくつかのカーブミラーの向きがずれており、職員が修正に出向くというが業者委託できないのか。

回答：町内で数カ所あると聞いて、先週から職員が手分けして修正しており、壊れたものは業者に工事等の依頼をする。

質疑：町民レガッタ事業123万円であるが、久しぶりに従来規模での開催になるのか。

回答：10月15日・16日を考えており、コロナ禍での運営を想定して町ボート協会と協議を重ねている。

質疑：全国市町村交流レガッタ事業411万円であるが、久しぶりの開催を期待しており、「ボートの町美浜」を全国にアピールできる貴重な機会である。良い成績を残したいが、その為には交通手段と宿泊方法をしっかり考えて欲しいがどう考えているのか。

回答：9月23日～25日に茨城県潮来市で開催される予定であるが、東京までは新幹線、そこから先はバス移動とし、出場選手には出来るだけ負担のかからない行程を考えている。

質疑：北前船の日本遺産登録に関して、すでに40を超える自治体が登録されている。越前町、敦賀市、小浜市などが先行しており、登録だけなら埋没してしまう可能性があるのではないか。観光ビジョンはあるのか。

回答：一つの構想として早瀬にレイクセンターが出来上がる。そこは遊覧船の発着場やサイクリングやグラスボート、夜間イルミネーションをつけながら船で遊ぶ、さらには三宅彦右衛門商店、布絵の渡辺さんの展示館、そして千歯扱きや子供歌舞伎等の文化遺産があり、周遊滞在してもらう可能性を秘めている場所なので、貴重な文化財が展示できるところをこれから考えていかねばならないと考えている。

質疑：早瀬地区は非常に空き家が増えている状況だが、街並みをどう残していくかも課題に入れた取り組みが必要ではないか。

回答：北前船の日本遺産登録はチャンスである。街並みの景観保全も含めて観光での活用を考えていきたい。

<歳入関係全般>

質疑はありませんでした。

議案第43号 令和4年度美浜町診療所事業特別会計補正予算（第1号）

健康福祉課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：東部診療所は正職員の常勤の先生だが、丹生診療所は不定期で先生が変わる状態である。丹生診療所も東部診療所の様にできないのか。

回答：東部診療所の医師は町の正職員だが、丹生診療所の医師は月曜日と水曜日は木村病院からの派遣、金曜日については県紹介の医師に来ていただいている。以前は丹生診療所も自治医大から派遣されていたが、全国的に医師不足で県のプール制度等を利用して県から派遣してもらっている。

質疑：丹生診療所が将来的になくならないか心配するお年寄りが多いが、その辺はどうなのか。

回答：丹生診療所は東地区の医療体制に欠かせないところであり、敦賀半島唯一の医療機関として引き続き県へ医師派遣を要請していく。

質疑：月、水、金と飛び石診療で不都合は感じないのか、毎日にしてほしいという希望はないのか。

回答：1週間のうち2、5日の診療体制は数年前から変わっておらず周知されている。それ以外の曜日は、東部診療所や敦賀などの病院等に行っていただくか、夜間など緊急の場合には救急を呼んでいただいている。

議案第44号 令和4年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

健康福祉課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第45号 令和4年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）

上下水道課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第46号 令和4年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

上下水道課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第47号 令和4年度美浜町上水道事業会計補正予算（第1号）

上下水道課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

以上の審査を終え、委員会採決を行いました結果を報告いたします。

- (1) 議案第39号 専決処分の承認を求めることについて
(令和4年度美浜町一般会計補正予算(第1号))
は全員賛成をもって承認することに決しました。
- (2) 議案第42号 令和4年度美浜町一般会計補正予算(第2号)
は賛成多数をもって承認することに決しました。
- (3) 議案第43号 令和4年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第1号)
は全員賛成をもって承認することに決しました。
- (4) 議案第44号 令和4年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
は全員賛成をもって承認することに決しました。
- (5) 議案第45号 令和4年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算
(第1号)
は全員賛成をもって承認することに決しました。
- (6) 議案第46号 令和4年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算
(第1号)
は全員賛成をもって承認することに決しました。
- (7) 議案第47号 令和4年度美浜町上水道事業会計補正予算(第1号)
は全員賛成をもって承認することに決しました。

以上のおり審査を終了し、午後2時57分本委員会を閉会しました。

これをもって、予算決算常任委員会の委員長報告を終わります。